



出品作品リスト

- 出品番号は、本展図録および会場内の番号と一致しますが、展示の順序とは必ずしも一致しません。
- 作品保護のため、会期中、一部作品に展示替えがあります。
- 展示期間は以下および個別に記載のとおりです。
- 記載のないものは通期（2026年3月17日～5月10日）で展示されます。

前期 3月17日(火)～4月12日(日) | 後期 4月14日(火)～5月10日(日)

- 都合により、出品作品や展示期間に変更が生じる場合があります。
- 個人利用に限り、撮影禁止マークが付いている作品以外の会場内の写真撮影が可能です。フラッシュ、三脚、自撮棒の使用、動画の撮影は禁止です。他のお客様の鑑賞を妨げるような撮影はご遠慮ください。なお、会場内の混雑状況により予告なく撮影を禁止する場合がございます。予めご了承ください。
- 展示室内の温度・湿度・照明は、作品保護に関する国際的基準と慣例、所蔵者の貸出条件に従って調整されています。ご来場の方々にとって理想的な環境ではない場合もございますが、ご了承ください。
- 本展は和歌山県立近代美術館に巡回します(2026年5月30日[土]～7月20日[月・祝])。
- 出品番号1.2.11、1.4.01、1.4.03、1.4.05、2.3.02は和歌山会場のみで展示します。

本リストの情報の中には、今日の社会通念や人権意識にそぐわない表現を含むものがありますが、当時の時代背景にもとづく作者の意図を尊重し、改変は施さずに掲載しています。

2026.  
3.17<sup>[火]</sup>—5.10<sup>[日]</sup>  
東京国立近代美術館  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

主催：東京国立近代美術館、日本経済新聞社、テレビ東京、BSテレビ東京  
協賛：ライブアートボックス  
特別協力：神奈川県立歴史博物館、横浜美術館 協力：国立能楽堂、ビクセン

出品番号	作者名	作品名	制作年	所蔵	展示期間
<b>第1部 画業をたどる——生涯と芸術</b>					

第1章 若き日の観山(1873-1902 誕生・上京～修業時代～日本美術院への参加)

1.1.01		東方朔	1883(明治16)年	横浜美術館(入江宏氏寄贈)	前期
1.1.02		騎虎鍾馗	1884(明治17)年	横浜美術館	前期
1.1.03		十六羅漢 第二尊者 迦諾迦伐蹉	1884(明治17)年	横浜美術館(入江宏氏寄贈)	後期
1.1.04		許由	1884(明治17)年	横浜美術館(入江宏氏寄贈)	後期
1.1.05		十六羅漢 第五尊者 諾距羅	1884(明治17)年	横浜美術館(入江宏氏寄贈)	前期
1.1.06		森狙仙「狼図」(模写)	1889-90(明治22-23)年	横浜美術館	後期
1.1.07		写生(羽箒)	1889-93(明治22-26)年	茨城県天心記念五浦美術館	前期
1.1.08		写生(蓮根、くわい)	1889(明治22)年	茨城県天心記念五浦美術館	後期
1.1.09		写生(貝)	1889-93(明治22-26)年	茨城県天心記念五浦美術館	後期
1.1.10		写生(手板)	1889-93(明治22-26)年	茨城県天心記念五浦美術館	前期
1.1.11		写生(笹)	1889-93(明治22-26)年	茨城県天心記念五浦美術館	後期
1.1.12		写生(風呂敷包み)	1889-93(明治22-26)年	茨城県天心記念五浦美術館	前期
1.1.13		写生(炭)	1889-93(明治22-26)年	茨城県天心記念五浦美術館	前期
1.1.14		写生(蕪)	1889-93(明治22-26)年	茨城県天心記念五浦美術館	後期
1.1.15		線	1889-90(明治22-23)年頃	茨城県天心記念五浦美術館	後期
1.1.16		線	1889-90(明治22-23)年頃	茨城県天心記念五浦美術館	後期
1.1.17		線	1889-90(明治22-23)年頃	茨城県天心記念五浦美術館	前期
1.1.18		線	1889-90(明治22-23)年頃	茨城県天心記念五浦美術館	前期
1.1.19		婦人像(下図)	制作年不詳	三溪園	前期
1.1.20		山水図	1884(明治17)年	個人蔵	前期
1.1.21		鷹之図	1886(明治19)年	永青文庫	後期
1.1.22		鎌倉武士	1889(明治22)年頃	横浜美術館	前期
1.1.23		雨の芭蕉	1890(明治23)年	個人蔵	後期
1.1.24		西洋婦人	1890(明治23)年	水野美術館	後期
1.1.25		熊野観花	1894(明治27)年	東京藝術大学	前期
1.1.26		稚児文殊	1895(明治28)年	飯田市美術博物館	後期
1.1.27		仏誕	1896(明治29)年	東京藝術大学	前期
1.1.28		光明皇后	1897(明治30)年	国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)	後期
1.1.29		闇維	1898(明治31)年	横浜美術館	
1.1.30		元禄美人図(三味線図)	1899(明治32)年	石水博物館	前期
1.1.31		元禄美人図(弾琴図)	1899(明治32)年	個人蔵	前期
1.1.32		修羅道絵巻	1900(明治33)年	東京国立博物館	後期 (前半4/14-26、 後半4/28-5/10)
1.1.33		日・月蓬萊山図(右幅)	1900(明治33)年	静岡県立美術館	前期
1.1.34	横山大観・下村観山	蓬萊山之図 巖二日出図・月之出図	1900(明治33)年	国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)	後期
1.1.35		長安一片月	1900(明治33)年	松岡美術館	前期
1.1.36		春日野	1900(明治33)年	横浜美術館	前期
1.1.37		美人観桜	1901(明治34)年	佐久市立近代美術館	後期

出品番号	作者名	作品名	制作年	所蔵	展示期間
1.1.38		春秋鹿図	1902(明治35)年頃	個人蔵	後期
1.1.39		十六羅漢	1902(明治35)年頃	横浜美術館	前期
1.1.R01		写生帳(日本美術史ノート)	1889(明治22)年頃	神奈川県立歴史博物館	半期で頁替え
1.1.R02		画稿貼込帳		神奈川県立歴史博物館	半期で頁替え
1.1.R03	下村観山(挿絵)	「高潮」、島崎藤村『夏くさ』春陽堂	1898(明治31)年	個人蔵	
1.1.R04	下村観山(表紙)	大橋乙羽『若菜籠』博文館	1898(明治31)年	個人蔵	
1.1.R05	下村観山(挿絵)	高山林次郎『世界歴史譚第一編 釈迦』博文館	1899(明治32)年	個人蔵	半期で頁替え
1.1.R06	下村観山(挿絵)	饗庭篁村『少年読本第五編 曲亭馬琴』博文館	1899(明治32)年	個人蔵	半期で頁替え
1.1.R07	下村観山(挿絵)	田山花袋『少年読本第十六編 池大雅』博文館	1899(明治32)年	個人蔵	半期で頁替え
1.1.R08	下村観山(挿絵)	「子の日松」、『心の華』第3巻第1号、鶯蛙吟社	1900(明治33)年	個人蔵	

## 第2章 西洋を識る(1903-1905 イギリス留学)

1.2.01		ダイオゼニス	1903(明治36)年	東京国立近代美術館	
1.2.02		倫敦夜色(下図)	1903(明治36)年頃	三溪園	前期
1.2.03		ディオゲネス	1903-05(明治36-38)年	大英博物館	
1.2.04		草花図	1903-05(明治36-38)年	大英博物館	
1.2.05		馬図	1903-05(明治36-38)年	大英博物館	
1.2.06		錦の渡り(竜田川)	1903-05(明治36-38)年	大英博物館	
1.2.07		雨中行旅図	1903-05(明治36-38)年	大英博物館	
1.2.08		倫敦之夜景	1904(明治37)年	三溪園 (山口八十八コレクション)	後期
1.2.09		帰郷の図	1904(明治37)年	個人蔵	前期
1.2.10		行旅図	1904(明治37)年頃	個人蔵	
1.2.12		《小椅子の聖母》(ラファエロ)の模写	1904(明治37)年	横浜美術館	前期
1.2.13		《小椅子の聖母》(ラファエロ)の模写・巖上の鶉	1904(明治37)年頃	東京国立博物館	後期
1.2.14		《まひわの聖母》(ラファエロ)の模写	1905(明治38)年	横浜美術館 (松信泰輔氏寄贈)	後期
1.2.R01		英国留学任命書	1902(明治35)年	神奈川県立歴史博物館	
1.2.R02		留学出発辞令	1902(明治35)年	神奈川県立歴史博物館	
1.2.R03		旅券	1902(明治35)年	神奈川県立歴史博物館	
1.2.R04		修学地及旅費見積書	1902-03(明治35-36)年	神奈川県立歴史博物館	
1.2.R05		書簡 橋本雅邦宛(1903年10月23日)	1903(明治36)年	個人蔵	前期
1.2.R06		滞欧期スケッチブック	1903-05(明治36-38)年	神奈川県立歴史博物館	半期で頁替え
1.2.R07		滞欧期収集資料スクラップブック	1903-05(明治36-38)年頃	神奈川県立歴史博物館	半期で頁替え
1.2.R08		書簡 母寿々宛(1904年9月18日)	1904(明治37)年	神奈川県立歴史博物館	後期
1.2.R09		留学申報書	1904(明治37)年	神奈川県立歴史博物館	前期
1.2.R10		留学申報書	1905(明治38)年	神奈川県立歴史博物館	後期
1.2.R11		留学始末書	1906(明治39)年	神奈川県立歴史博物館	
1.2.R12		印(朱文円印「KANZAN」、アーサー・モリソン寄贈)		神奈川県立歴史博物館	

## 第3章 飛躍の時代(1906-1913 帰国～日本美術院再興前夜)

1.3.01		木の間の秋	1907(明治40)年	東京国立近代美術館	
1.3.02		驟雨	1908(明治41)年頃	茨城県近代美術館	後期
1.3.03		風	1908(明治41)年頃	東京藝術大学	前期
1.3.04		雨中鷺	1908(明治41)年頃	茨城県近代美術館	後期
1.3.05		狐の婚礼	1909(明治42)年	駿府博物館	前期
1.3.06		小倉山	1909(明治42)年	横浜美術館	前期
1.3.07		美人と舍利	1909(明治42)年	豊田市美術館	前期
1.3.08		三聖之図	1909(明治42)年	横浜美術館	後期
1.3.09		魔障	1910(明治43)年	東京国立博物館	後期
1.3.10	竹内栖鳳・下村観山・横山大観	観音白鶴猿猴図	1910(明治43)年	永青文庫	前期
1.3.11		唐茄子畑	1911(明治44)年	東京国立近代美術館	
1.3.12		朝帰りの図(雪の朝帰り)	1911(明治44)年	三溪園	前期
1.3.13		住吉明神	1911(明治44)年頃	飯田市美術博物館	後期
1.3.14		鶉	1912(明治45)年	東京国立博物館	後期
1.3.R01		草花禽虫写生図巻	1906(明治39)年頃	神奈川県立歴史博物館	半期で巻替え

## 第4章 画壇の牽引者として(1914-1930 日本美術院再興～死没)

1.4.02		女	1915(大正4)年	永青文庫	後期
1.4.04		弱法師	1915(大正4)年	東京国立博物館 重要文化財	前期
1.4.06		弾初	1918(大正7)年	名都美術館	後期

出品番号	作者名	作品名	制作年	所蔵	展示期間
1.4.07		豊太閤	1918(大正7)年	東京国立博物館	後期
1.4.08		急流	1918(大正7)年	阿波藍商コレクション	前期
1.4.09		鵜飼	1918(大正7)年頃	阿波藍商コレクション	後期
1.4.10		高士観瀑	1919(大正8)年	茨城県近代美術館	前期
1.4.11		支那美人	1920(大正9)年頃	個人蔵	前期
1.4.12		楠公図	1921(大正10)年	東京国立博物館	後期
1.4.13		天心岡倉先生(草稿)	1922(大正11)年	東京藝術大学	後期
1.4.14		寒空	1923(大正12)年	福島県立美術館	前期
1.4.15		新緑	1923(大正12)年頃	三溪園	後期
1.4.16		維摩黙然	1924(大正13)年	大倉集古館	後期
1.4.17		晚鐘(春の夕暮)	1924(大正13)年	個人蔵	前期
1.4.18		三猿	1924(大正13)年	横浜美術館	後期
1.4.19		不動尊	1925(大正14)年	大倉集古館	前期
1.4.20		游魚	1925(大正14)年	個人蔵	前期
1.4.21		夕月	1925-26(大正14-15)年頃	松岡美術館	後期
1.4.22		女三之宮	1927(昭和2)年	横浜美術館	3月17日～ 4月26日
1.4.23		魚籃観音	1928(昭和3)年	西中山 妙福寺	
1.4.24		時雨	1929(昭和4)年	霊友会 妙一コレクション	4月28日～ 5月10日
1.4.25		一休禅師	1930(昭和5)年	松岡美術館	後期
1.4.26		意馬心猿図	1930(昭和5)年	神奈川県立歴史博物館	前期
1.4.27		竹の子	1930(昭和5)年	個人蔵	
1.4.R01		スケッチブック(東海道旅行)	1915(大正4)年	三溪園	半期で真替え
1.4.R02		院葬之辞	1930(昭和5)年	神奈川県立歴史博物館	
1.4.R03		絵画用具		神奈川県立歴史博物館	
1.4.R04		絵具		和歌山県立近代美術館	

## 第2部 制作を紐解く——時代と社会

### 第1章 何をどう描いたか——不易流行

2.1.01		辻説法	1892(明治25)年	横浜美術館	後期
2.1.02		日蓮上人辻説法	1894(明治27)年	東京藝術大学	前期
2.1.03		納涼	1902(明治35)年頃	東京藝術大学	前期
2.1.04		納涼図	1909(明治42)年頃	茨城県近代美術館	後期
2.1.05		毘沙門天 弁財天	1911(明治44)年	徳島県立近代美術館	後期
2.1.06		猿猴	1914(大正3)年	三溪園	後期
2.1.07		塞翁馬	1915(大正4)年頃	公益財団法人 北野美術館	前期
2.1.08		寒山拾得	1915(大正4)年頃	公益財団法人 北野美術館	前期
2.1.09		月下弾琴	1915(大正4)年頃	個人蔵	後期
2.1.10		竹林七賢	1915(大正4)年頃	茨城県近代美術館	後期
2.1.11		寿星	1915(大正4)年頃	福井県立美術館	前期
2.1.12		老松	1916(大正5)年頃	茨城県近代美術館	前期
2.1.13		四眠	1917(大正6)年	横浜美術館	前期
2.1.14		一休禅師	1918(大正7)年	永青文庫	後期
2.1.15		獅子図屏風	1918(大正7)年	水野美術館	後期
2.1.16		日野資朝	1919(大正8)年頃	個人蔵	前期
2.1.17		静清	1920(大正9)年頃	福井県立美術館	後期
2.1.18		鍾馗	1922(大正11)年	個人蔵	
2.1.19		稚児文殊	1923(大正12)年頃	横浜美術館	前期
2.1.R01		毘沙門天 弁財天(下図)	1911(明治44)年頃	個人蔵	
2.1.R02-1	谷文晁・谷文二	文晁夫妻影像	1834(天保5)年	個人蔵	前期
2.1.R02-2		「文晁夫妻影像」収納箱		個人蔵	前期
2.1.R02-3		書簡 金子堅太郎より下村観山宛(「文晁夫妻影像」附属品、1929年10月)	1929(昭和4)年	個人蔵	後期
2.1.R02-4		「谷文晁名作品 第八十一回美術展覧会参考品目録」(「文晁夫妻影像」附属品)	1929(昭和4)年	個人蔵	後期
2.1.R02-5		「建碑記念 谷文晁遺作展覧会出品目録」(「文晁夫妻影像」附属品)	1931(昭和6)年	個人蔵	前期
2.1.R03		借用証 清水源泉堂、孚水画房より下村観山宛(1927年4月15日)	1927(昭和2)年	神奈川県立歴史博物館	
2.1.R04		書簡 大隈信常より下村観山宛(1928年4月)	1928(昭和3)年	神奈川県立歴史博物館	

### 第2章 なぜこれを描いたか——日本近代と文化的アイデンティティ

2.2.01		元禄年間武家対図	1890-92(明治23-25)年頃	東京大学 駒場博物館	前期
--------	--	----------	--------------------	------------	----

出品番号	作者名	作品名	制作年	所蔵	展示期間
2.2.02		蒙古襲来図	1895(明治28)年	東京大学 駒場博物館	前期
2.2.03		蒙古調伏曼荼羅授与之図	1899(明治32)年	元寇史料館	後期
2.2.04		大原之露	1900(明治33)年	茨城県近代美術館	前期
2.2.05	下村観山・木村武山	平重盛・養老勅使・瀧図	1901-02(明治34-35)年頃	下関市立美術館	前期
2.2.06		大原御幸	1908(明治41)年	東京国立近代美術館	半期で巻替え
2.2.07		菊慈童	1909(明治42)年頃	宮城県美術館	後期
2.2.08		虎溪三笑	1912(大正元)年頃	横浜美術館	後期
2.2.09		高砂	1913-18(大正2-7)年頃	阿波藍商コレクション	後期
2.2.10		男舞	1916(大正5)年	横浜美術館(石崎康吉氏寄贈)	前期
2.2.11		雪松	1916(大正5)年頃	横浜美術館	後期
2.2.12		弱法師	1918-19(大正7-8)年頃	四天王寺	後期
2.2.13		白菊翁	1920(大正9)年	個人蔵	前期
2.2.14		俊徳丸	1922(大正11)年	公益財団法人 日本美術院	前期
2.2.15		明治天皇臨幸画卷 亀巻(能優打粉)	1927(昭和2)年	前田育徳会	後期
2.2.R01	下村観山(挿絵)	「海上雲遠」、池辺義象・弥富浜雄「御製謹註 天津日影」中島辰文館	1911(明治44)年	個人蔵	
2.2.R02		(写真版口絵)「新築されたる宝生会能舞台」『能楽』第11巻12月号、能楽発行所	1913(大正2)年	個人蔵	
2.2.R03		(写真版口絵)「近藤乾三氏の黒塚前シテ」『能楽』第12巻第7号、能楽発行所	1914(大正3)年	個人蔵	
2.2.R04	下村観山(表紙)	『宝生流地拍子手附正本』巻15、わんや謡曲書肆	1920(大正9)年	法政大学鴻山文庫	
2.2.R05	下村清時	能面 小面	制作年不詳	和歌山県立近代美術館	

### 第3章 作品の生きる場所、作品がつなくもの

2.3.01		束帯天神像	1902(明治35)年	太宰府天満宮	前期
2.3.03		普賢文殊	1909(明治42)年頃	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館	前期
2.3.04		静清(西行詣白峯)	1911(明治44)年	個人蔵	前期
2.3.05		維摩居士	1911(明治44)年	横浜美術館	前期
2.3.06		城外の雨	1914(大正3)年頃	三溪園	後期
2.3.07		草廬三顧	1915(大正4)年頃	駿府博物館	後期
2.3.08		和歌浦	1915(大正4)年	個人蔵	前期
2.3.09		莊子	1918(大正7)年頃	三溪園	後期
2.3.10		日月	1920(大正9)年	横浜美術館	後期
2.3.11		天台登山図	1920(大正9)年	延暦寺	後期
2.3.12		三保虹	1923(大正12)年頃	個人蔵	
2.3.13		楓	1925(大正14)年	南湖神社	前期
2.3.R01		『観山会画集』精華社	1915(大正4)年	個人蔵	
2.3.R02	下村観山ほか	灯籠	1917(大正6)年	個人蔵	
2.3.R03		『観山会画集 第二』精華社	1918(大正7)年	個人蔵	
2.3.R04-1		招待状(〈諸井家稲荷祭関係資料〉より)	1918(大正7)年	文京ふるさと歴史館	
2.3.R04-2		十二日稲荷祭招客(名簿)(〈諸井家稲荷祭関係資料〉より)	1918(大正7)年	文京ふるさと歴史館	
2.3.R04-3	渋沢栄一	絵馬(〈諸井家稲荷祭関係資料〉より)	1918(大正7)年	文京ふるさと歴史館	
2.3.R04-4	高田早苗	絵馬(〈諸井家稲荷祭関係資料〉より)	1918(大正7)年	文京ふるさと歴史館	
2.3.R04-5	寺崎廣業	絵馬(〈諸井家稲荷祭関係資料〉より)	1918(大正7)年	文京ふるさと歴史館	
2.3.R04-6	下村観山	絵馬(〈諸井家稲荷祭関係資料〉より)	1918(大正7)年	文京ふるさと歴史館	
2.3.R04-7	川合玉堂	絵馬(〈諸井家稲荷祭関係資料〉より)	1918(大正7)年	文京ふるさと歴史館	
2.3.R05		『観山会画集 第三』精華社	1920(大正9)年	個人蔵	
2.3.R06		奎城生「茶前茶後」『実業之日本』第26巻第1号、実業之日本社	1923(大正12)年	個人蔵	
2.3.R07		添状 三松武夫ほか3名より久保田政周宛(〈三保虹〉附属品、1923年3月)	1923(大正12)年	個人蔵	
2.3.R08	渋沢栄一ほか	渋沢青淵翁手書孝経	1924(大正13)年	渋沢史料館	半期で巻替え